



東城の夜に光をともして

東城まちなみイルミネーション・12/20～1/10

街道東城路(東城市街地)で「東城まちなみイルミネーション」が開催されました。東城まちなみ保存振興会や東城高校の「東城応援隊」、地域の人が協力し、イルミネーションやあんどんを設置して、街道を飾り付けました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、点灯式などは実施されませんでした。街道ではイルミネーションと雪で彩られた幻想的な景色を楽しむことができました。

このイルミネーションには新型コロナウイルスの早期終息の願いも込められており、訪れた人は「一日でも早く穏やかな日々が戻り、本年はお通りなどのイベントが開催されることを願う」と話しました。



▲「ほろちゃん」のイルミネーションと制作した東城応援隊

福祉の心を学ぶ

地域に学ぶ交流活動事業・12/16

高野小6年生14人が、同校体育館で福祉を学ぶ体験に参加しました。この取り組みは「地域に学ぶ交流活動事業」として毎年行っており、庄原市社会福祉協議会から講師を迎え、福祉についての体験や学習をしています。

最初に、講師から児童へ『「ふ」だんの『く』らしを『し』あわせにする、『ふくし』の心を学んでほしい』と話しました。その後、児童は説明を受けながら介護ベッドや車いすなどの福祉用具体験、目隠しや重りを付けての高齢者疑似体験、訪問入浴車による入浴体験を行いました。

体験を終えた児童は「高齢者の体の不自由さや、介護の大変さがわかった。お年寄りを支えていきたい」と話しました。



▲訪問入浴の説明を受ける児童

元気に雪遊び!

高野保育所 雪遊び・1/21

1月18日から19日にかけて、市内全域で大雪が降り、一面真っ白な雪景色が見られました。

高野保育所では雪が50センチ以上積もり、ブランコの座板が完全に埋まってしまうほどでした。

園庭には雪を集めて作った滑り台などが用意され、園児は元気に遊んでいました。



▲雪の滑り台で遊ぶ園児



▲雪の上で記念撮影

華やかな新年に

門松としめ飾りを寄贈・12/25

庄原市シルバー人材センターしめ縄門松同好会の会員の皆さんが、市役所本庁舎に門松としめ飾りを設置しました。

正面玄関の両脇に1時間をかけて設置された門松は、高さ約2メートルで、松や竹、ナンテンなどできれいに飾られました。

この門松としめ飾りは、竹やわらなどの材料の調達から作成まで、会員自らで行います。とりわけしめ飾りは、苗の植え付け、刈り取り、乾燥まで行い、10月ごろから作成に取り掛かります。

本年も立派な門松やしめ飾りで、華やかに良い新年を迎えることができました。



▲しめ縄門松同好会の皆さん